

メニュー

【新鑑定評価書対応済】鑑定評価書(様式 1~様式 4)、鑑定価格補足資料ともに A4 縦書きとなりました。

I 導入作業（「第 I 編 導入作業」）

— 標準宅地データの登録、調書の印刷、メモ価格の登録、メモ価格一覧表の印刷 —

- ① 作業領域の作成、基本設定（桁数、課税用途区分設定、標準画地等）
- ② 鑑定対象である標準宅地データを登録し、標準宅地調書を印刷する。
- ③ メモ価格を登録して、メモ価格一覧表を印刷する。

II 準備作業（「第 II 編 準備作業」）

— 事例データの取り込み、比準表、評価文例等の登録 —

- ① 要因項目、採用する地域要因、比準表、時点修正率表を登録する。
- ② 公示・基準地データ、取引事例データ、賃貸事例データ、収益事例データの取込み、登録する。
- ③ 標準化補正、時点修正
- ④ 鑑定を効率的に進めるための設定
直接法算出パターン（基本利率等）の登録
評価パターンの設定、評価文例の登録

III 鑑定評価（「第 III 編 評価作業」）

— 鑑定評価、鑑定結果のチェック —

- ① 地域補正（公示地・基準地からの規準・比準、取引事例比準）、収益還元法
- ② 鑑定評価査定
評価額決定、理由文登録
- ③ 鑑定結果のチェック

IV 鑑定結果出力

（第 IV 編 印刷・データ授受・保存）

— 鑑定結果の印刷、鑑定データの
の取出し —

- ① 鑑定評価書の印刷
- ② 付属資料の印刷
- ③ データの出力

V 鑑定後の時点修正

H23.1.1 の鑑定評価後の時点修正

（H23.7.1、H24.7.1、H25.7.1）

に対応します。

